「ペーシングワイヤー抜去に伴う心損傷による死亡」に関するWebアンケート集計結果

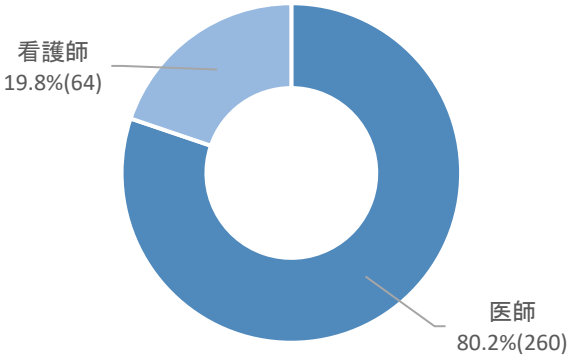
警鐘レポートNo.1　Webアンケート実施概要

調査期間　2025年11月5日～2026年2月28日
調査対象　日本心臓血管外科学会に所属している医師、
　　特定行為に係る指定研修協議会に所属している看護師
回答数　　324名

回答者について

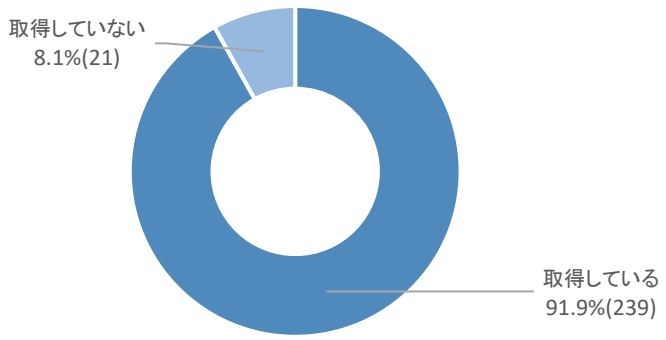
職種

（n=324）



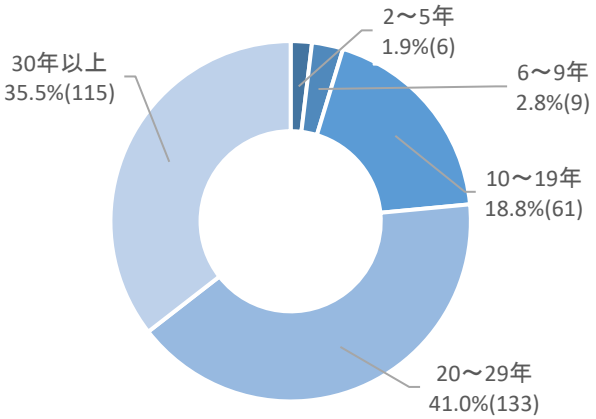
心臓血管外科専門医の取得

※対象：医師と回答した方
（n=260）



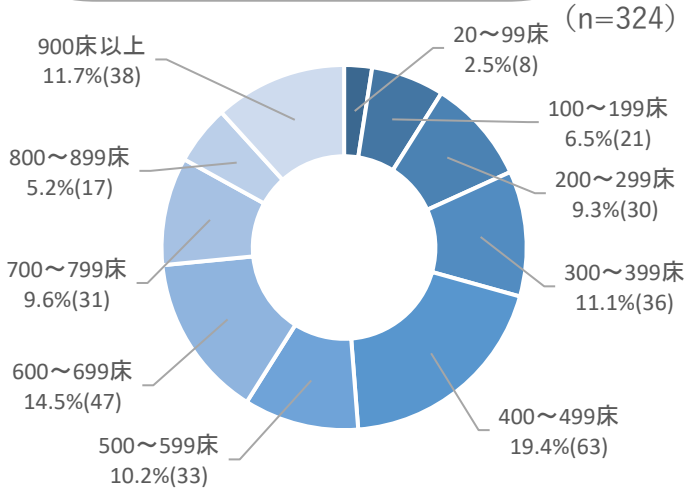
経験年数

（n=324）



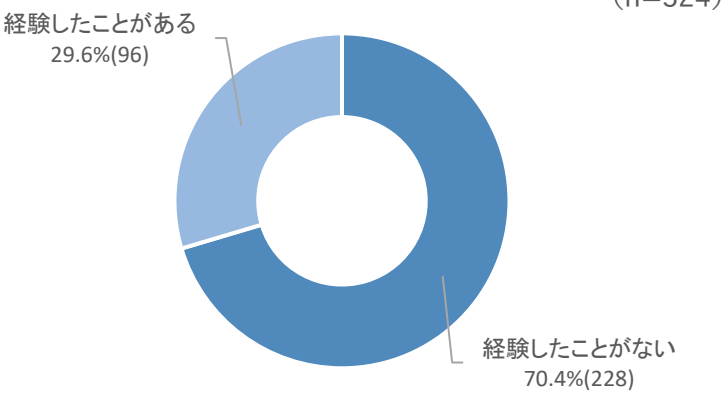
所属医療機関の規模

（n=324）



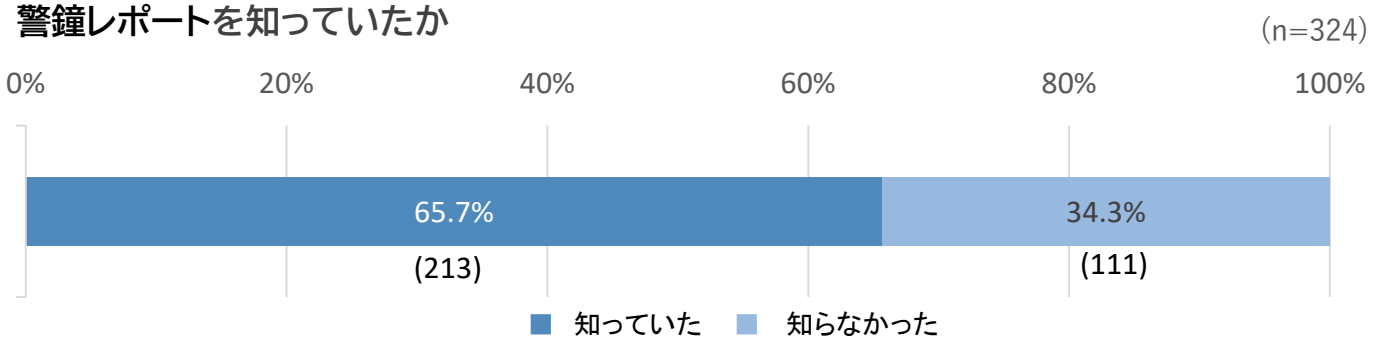
ペーシングワイヤー抜去に伴う心損傷の経験

（n=324）

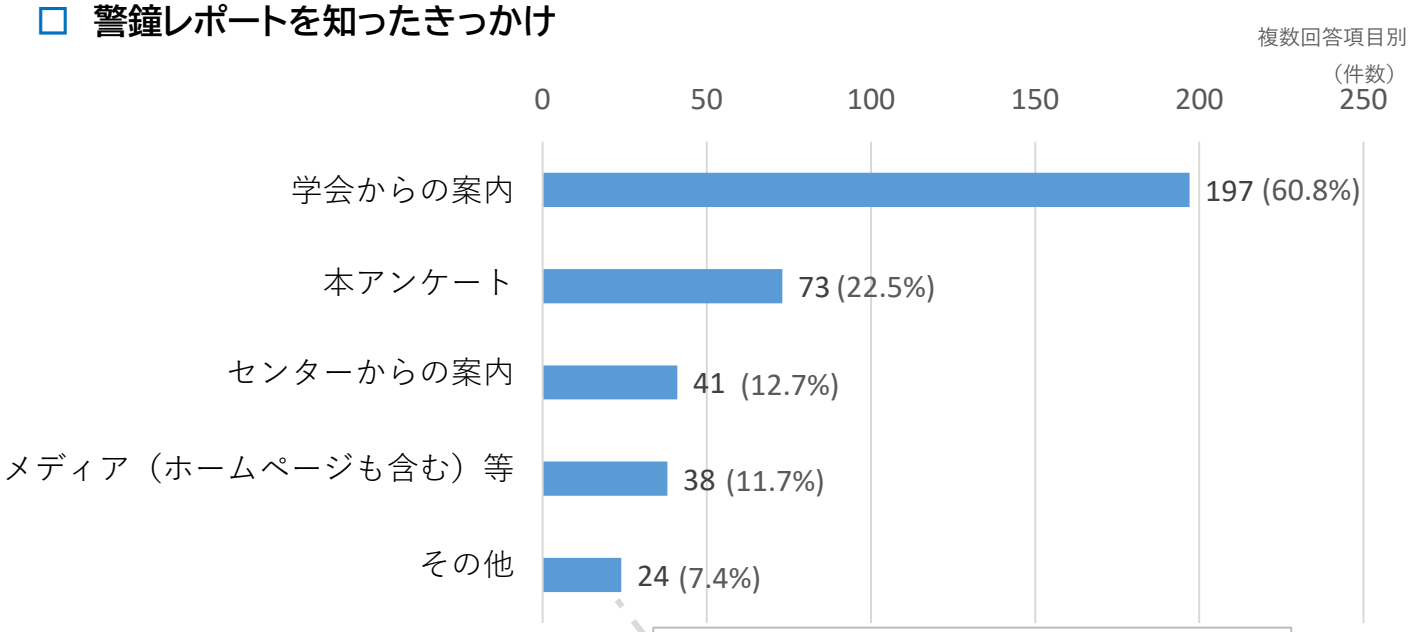


警鐘レポートの周知状況

■ 警鐘レポートを知っていたか

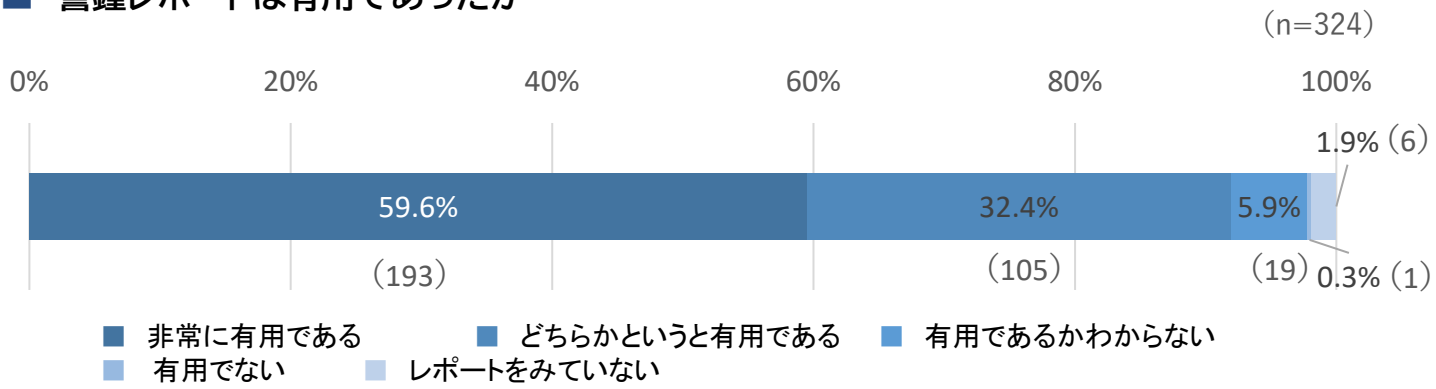


□ 警鐘レポートを知ったきっかけ



その他の主なもの
・院内の医療安全委員会からの周知
・病棟の掲示
・上司からの紹介

■ 警鐘レポートは有用であったか



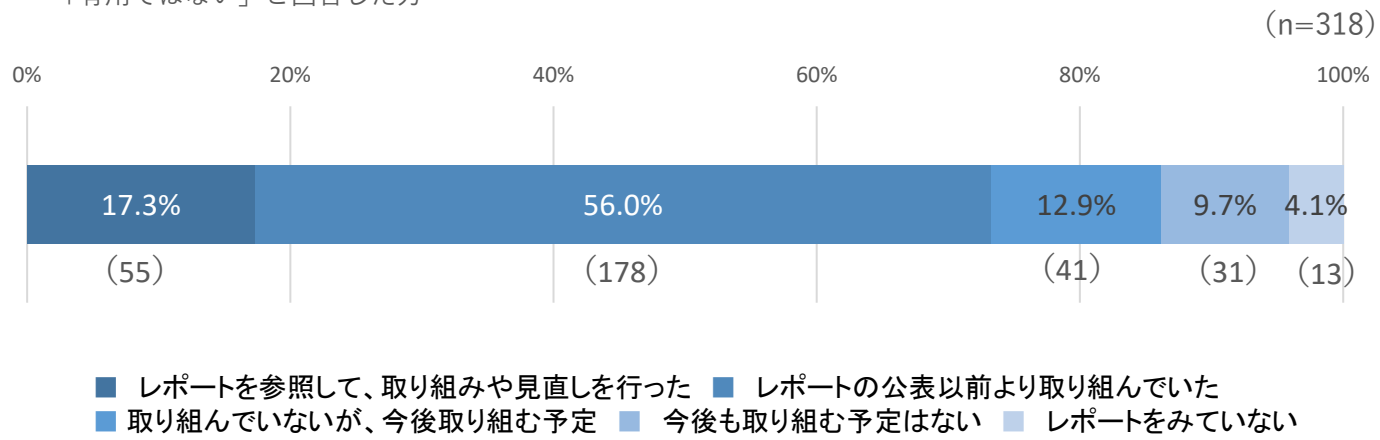
●警鐘レポートが有用でない理由

・ペーシングワイヤーを取り扱う医療者にとっては当然の内容であるため

警鐘レポートの実践

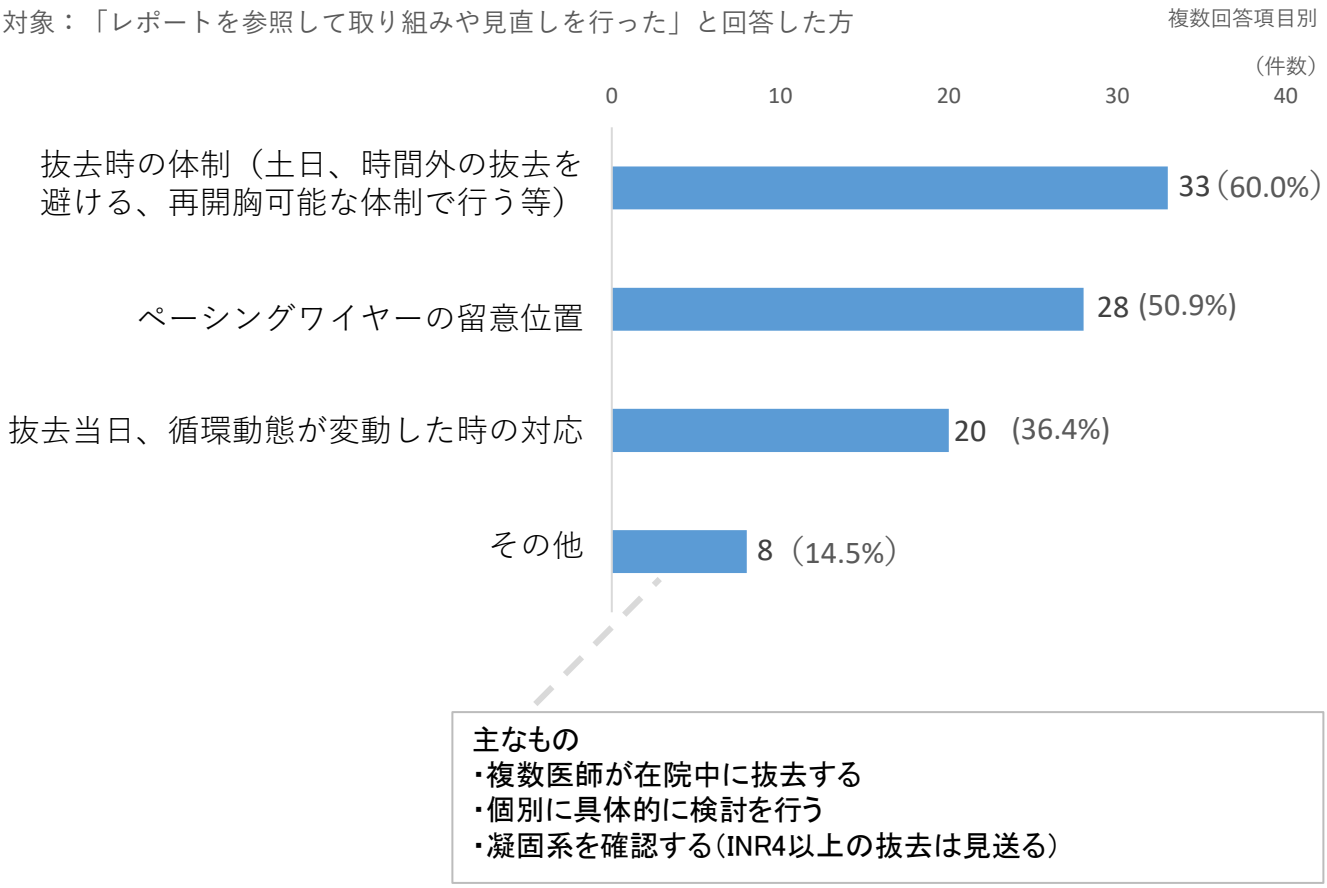
■ 警鐘レポートNo.1の取り組み状況

※対象：警鐘レポートは、「非常に有用」「どちらかというと有用」「有用であるかわからない」「有用ではない」と回答した方



□ 取り組んだ、もしくは見直した内容

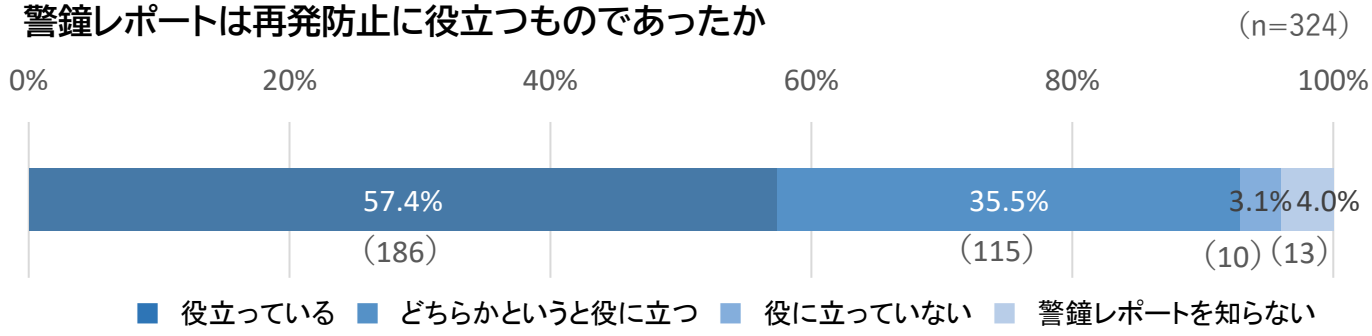
※対象：「レポートを参照して取り組みや見直しを行った」と回答した方



主なもの
・複数医師が在院中に抜去する
・個別に具体的に検討を行う
・凝固系を確認する（INR4以上の抜去は見送る）

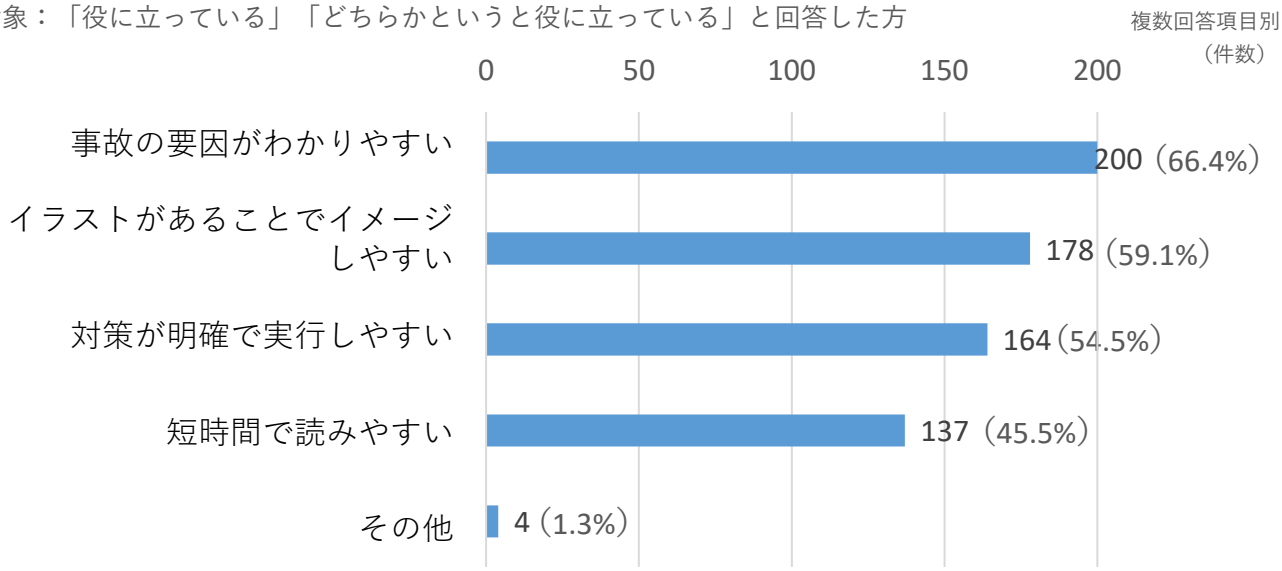
警鐘レポートの有用性

■ 警鐘レポートは再発防止に役立つものであったか



□ 再発防止に役立つと思う理由

※対象：「役に立っている」「どちらかというと役に立っている」と回答した方



□ 再発防止に、より役立てるために工夫できること

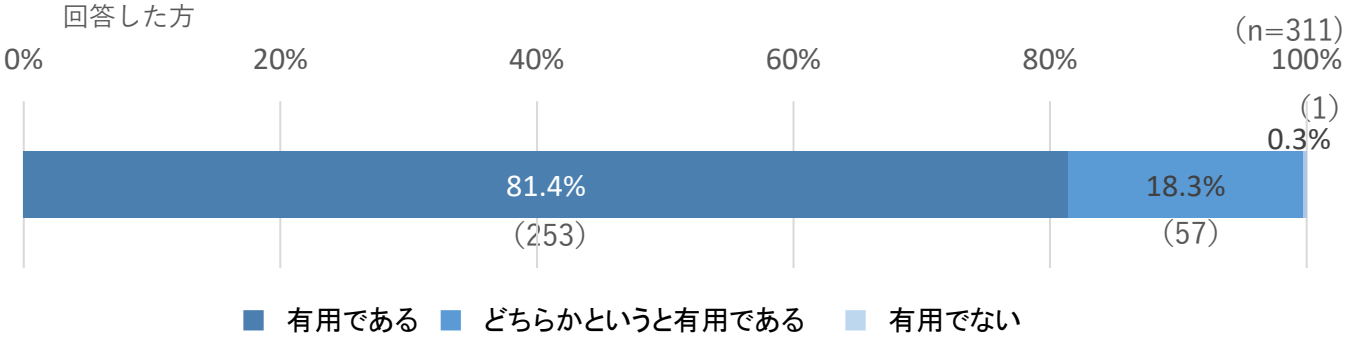
●主なもの

- 同じ内容でも定期的にメールやSNSで啓発するとよい
- 原因について詳細な記述があるとよい
- 簡潔に短く、対策は明瞭にする
- 学会でポスター表示する
- 専門医更新の条件にレポートの参照を必須化にする
- イラストは理解するために役立つ
- 字数を少なくし、詳細や事例は二次元コードから読めると広く職員に広がるきっかけになるのではないか

事例概要の有用性

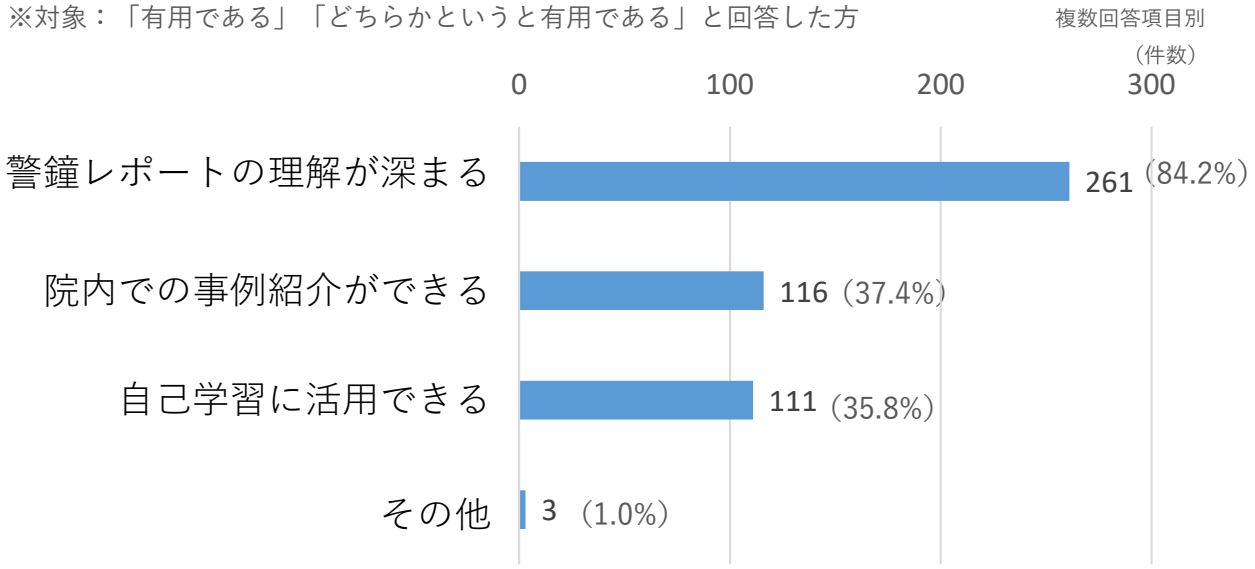
■ 警鐘レポートに事例概要を掲載する有用性について

※対象：警鐘レポートが再発防止に「役立っている」「どちらかというと役に立つ」「役に立っていない」と回答した方



□ 事例概要が有用であると思う理由

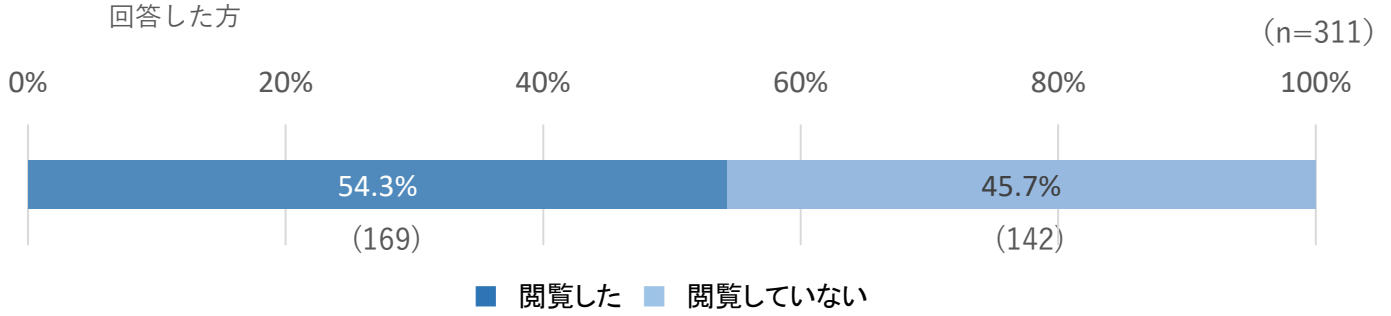
※対象：「有用である」「どちらかというと有用である」と回答した方



□ 事例概要が有用でないと思う理由

※対象：「警鐘レポートが有用でない」と回答した方

・読む時間がない

■ ホームページに掲載されている「対象事例の概要」（全対象事例）の閲覧状況

※対象：警鐘レポートが再発防止に「役立っている」「どちらかというと役に立つ」「役に立っていない」と回答した方